

警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルの数字が大きいほど危険度が高くなります

災害はいつ起こるかわかりません

警戒レベル	気象庁等の情報	状況	津久見市の対応	住民が取るべき行動
5	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報 ・高潮氾濫情報等	災害発生又は切迫 (安全確保)	緊急安全確保の発令	命を最優先に安全な場所に避難 外出困難ならその場で最善の安全対策を講じる
<警戒レベル4までに必ず避難>				
4	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報 ・高潮警報等	災害のおそれ高い (危険)	避難指示の発令	危険な場所から全員避難
3	・大雨・洪水警報 ・氾濫警戒情報等	災害のおそれあり (警戒)	高齢者等避難の発令	高齢者等は危険な場所から避難
2	大雨・暴風・洪水・高潮注意報	気象状況悪化 (注意)	注意喚起 (事前避難推奨)	明るいうち、安全な時に早めの避難
1	早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ(注意)	注意喚起	災害への準備、心構えをする

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

※3 令和8年度から気象庁の「防災気象情報の体系」や「各種名称」が変更となる

※内閣府・気象庁ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

避難に関する4つの情報

災害の危険が迫って住民の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。
4種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

1 事前避難

災害の発生を確認したら、警戒レベルが高くなる前に親戚・知人宅や宿泊施設等への事前の避難をお勧めします。

※事前避難の際は、自主防災会や近隣の方に行き先をお知らせください。



2 高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。

- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は明るいうちから早めの避難をしてください。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備をしてください。



3 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。

- 危険な場所から全員避難を完了してください。
- まだ避難していない住民は直ちに避難します。
万一避難する余裕がなければ、自宅や近くの安全な場所で命を守る最大限の対策をしてください。

4 緊急安全確保

既に災害が発生しているか又は災害が発生直前であったり、どこかで既に発生していてもおかしくなく、安全な避難が難しい状況。

- 命を守るため安全な場所へ直ちに避難してください。
外出が危険な場合は自宅等の安全な場所へ避難してください。
- なるべく窓際を避け、2階以上の高い場所に垂直避難してください。